

天龍寺文書の研究

原田正俊編

▶ A5判・720頁／定価14,700円(税5%込) ISBN978-4-7842-1571-3 【4月刊行 発売中】

- 京都嵯峨の名刹・天龍寺の古文書は、仏教史・寺院史のみならず多数の朝廷・幕府発給の文書、荘園関係文書を含み、政治史・社会経済史研究に必須の文書群である。
- 第一部には鎌倉時代～慶長5年の中世天龍寺関係文書および関連諸塔頭文書を翻刻・掲載、第二部には研究編として解説・論考を収録する。
- 編者を中心とした「天龍寺文書研究会」の約10年におよぶ研究成果。

●内容目次●

第一部 文書編

天龍寺文書(天龍寺・臨川寺・宝篋院文書)

鎌倉・南北朝時代	300通
室町時代	265通
戦国時代	82通
織豊時代	152通

付録 関連諸塔頭文書

寿寧院文書	5通
某院(寿寧院)文書	1通
真乘院文書	23通
慈濟院文書	5通
妙智院文書	15通



夢窓疎石自贊頂相
(天龍寺藏・重要文化財)

第二部 研究編

天龍寺文書の構成と内容

- (原田正俊・関西大学教授)
- 天龍寺・臨川寺・善入寺の所領について
(地主智彦・文化庁美術学芸課文化財調査官)
- 天龍寺・臨川の寺辺・近傍所領
(玉城玲子・向日市文化資料館学芸員)
- 世良親王遺領と臨川寺の創建
(中井裕子・関西大学大学院博士後期課程)
- 天龍寺塔頭寿寧院の文書と所領
(楞野一裕・尼崎市教育委員会学芸員)
- 戦国・織豊期の天龍寺諸塔頭について
(伊藤真昭・善隆寺住職・大谷大学非常勤講師)
- 重書案文の骨子目録
- 文書目録／所蔵者別目録／索引(人名・地名)

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 【2011年6月27日より左記に移転】 tel.075-751-1781 fax.075-752-0781
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版		(京都 取引コード 3402)
冊数	冊	天龍寺文書の研究 本体14,000円(税別)		ISBN978-4-7842-1571-3
お名前	tel			
	e-mail			
ご住所				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由(このちらしを書店にお渡し下さい)			
	<input type="checkbox"/> 代引(書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)			
				書店番線印

近世禅僧伝

近世禅僧から8人を選び、年譜・行状・訓注を通して、波乱と起伏に富んだ境遇に隠されたその思想を浮き彫りにする。歳ごとに年譜原文、読み下し、詳細な注解をつけて生涯を跡づけ、巻頭に「人と思想」と題して概説をつける。

- | | |
|--|---------------------------------|
| ①※沢庵和尚年譜 荻須純道著 ▶A5判・5,670円 ISBN4-7842-0132-7 | ② 一鉢和尚年譜 柳田聖山著 【未刊】 |
| ③※雲居和尚年譜 平野宗浄著 ▶A5判・6,300円 ISBN4-7842-0428-8 | ④ 愚堂・無礙和尚年譜 西尾賢隆著 【未刊】 |
| ⑤ 盤珪和尚年譜 小林田照著 【未刊】 | ⑥ 無著和尚年譜 加藤正俊・柳田聖山著 【未刊】 |
| ⑦※白隠和尚年譜 加藤正俊著 ▶A5判・6,825円 ISBN4-7842-0396-6 | ⑧ 東嶺和尚年譜 西村恵信著 ▶A5判・6,825円 【品切】 |

相国寺蔵 西笑和尚文案 自慶長二年至慶長十二年

伊藤真昭・上田純一・原田正俊・秋宗康子編

豊臣秀吉・徳川家康のブレーンとして寺社政策・外交政策に辣腕を發揮した相国寺中興の祖・西笑承兌の発給した書状の案文をまとめた『西笑和尚文案』全10冊を紙背文書も含め初めて活字化。朝鮮出兵に関する内容や、関ヶ原合戦直後の状況、家康政権下の寺社公事など、当時の政治状況をうかがうことの出来る重要史料。

▶A5判・396頁/定価7,350円 ISBN978-4-7842-1343-6

鹿王院文書の研究

鹿王院文書研究会編

足利義満を開基、春屋妙葩を開山とする臨済宗寺院、鹿王院所蔵の中世文書一五山禅林と幕府・朝廷との関係や京中及び諸国に展開する所領・荘園に関する貴重史料など一約900点を収録。第1部(文書篇)では編年で釈文を、第2部(解題・研究篇)には文書全体の解題他、研究成果を収録。

▶A5判・530頁/定価13,650円 ISBN4-7842-1037-7

一休派の結衆と史的展開の研究

矢内一磨著

一休没後も存続した一休派の結衆とその史的展開を解明することで、中世末期の寺院研究史上の欠如を埋める。一休の印可、法嗣否定による法統断絶の危機、門派結衆の軸としての一休塔所での評議、大徳寺復興や在俗信仰者の結衆の問題などをとりあげる。

▶A5判・370頁/定価8,190円 ISBN978-4-7842-1525-6

関山慧玄と初期妙心寺

加藤正俊著

世縁の粘着を嫌い隠逸の生涯を送った妙心寺の開山・関山慧玄は、自らの意志で伝記の手掛かりとなるものは遺さなかった。後世の関山伝や印可状などの諸史料を精密に分析し、初期妙心寺における関山を中心とした諸問題にとりくみ、宗門の密室性に分け入った一書。

▶A5判・390頁/定価6,825円 ISBN4-7842-1281-7

江月宗玩 欠伸稿 訳注 [乾・坤]

芳澤勝弘編著

江月宗玩の語録『欠伸稿』の龍光院蔵自筆本を翻刻。分量的には、影印で刊行されている写本「孤蓬庵本」のほぼ半分だが、「孤蓬庵本」にはない偈頌などを収録する。

【乾】▶A5判・644頁/定価9,975円 ISBN978-4-7842-1462-4
【坤】▶A5判・774頁/定価9,975円 ISBN978-4-7842-1515-7

※悟溪宗頓 虎穴録 訳注

芳澤勝弘編

妙心寺派四派の一つ東海派の祖であり、瑞龍寺開山である、悟溪宗頓(ごけいそうとん・1416~1500)の語録『虎穴録』を翻刻。詳細な註釈と現代語訳を施した。

▶A5判・844頁/定価10,500円 ISBN978-4-7842-1489-1

隔莫記 [全7巻/本篇6冊・総索引1冊]

本篇・赤松俊秀校訂/総索引:『隔莫記』研究会編

鹿苑寺住持鳳林承章が寛永12(1635)年から寛文8(1668)年までの33年間に渡って書き継いだ自筆日記で、近世の日記の中でも一級の記録を活字化。

※総索引は分売可

▶本篇・総索引セット:A5判・平均730頁/定価73,500円 ISBN4-7842-1311-2

隔莫記 総索引

『隔莫記』研究会編

『隔莫記』全6巻の膨大な情報を索引として刊行。人名(8000)・事項(8000)・社寺名(550)・地名(500)に分けて編集。人名索引は別称・異称・官位官職・寺院名・姻戚・師弟関係・居住地や鳳林・校注者の誤り等を併記。事項索引には陶磁器・園芸・建築・書画などの諸分野の項目を収録

▶総索引:A5判・760頁/定価14,700円 ISBN4-7842-1312-0

五山禅僧伝記集成 [新装版]

玉村竹二著

五山文学、禅宗史研究の最高権威者の業績を集約。鎌倉時代後期より室町時代末期の五山僧を中心に、学芸(文学・絵画・講書)に長じた人物や政治外交に活躍した僧など719人の伝記を収録。伝記は履歴を主とし、行履経歴の年月日を正確に捉えることを主眼とする。講談社より刊行されたものを新装復刊。

▶A5判・808頁/定価9,975円 ISBN4-7842-1139-X

※五山禅林宗派図

玉村竹二著

禅宗史研究の第一人者が、永年の研究成果を基に五山禅林の宗派図を体系的にまとめた画期的な一書。

【内容】解題と凡例/宗派綱要(譜源)―中国伝法/五山禅林宗派図(八十一項目) 関山派印証系譜/道号検索/法諱(下字) 検索/道号・法諱異称対照表

▶B5判・420頁/定価15,750円 ISBN4-7842-0403-2

瑞泉寺史

横山住雄著

応永22(1415)年、臨済宗妙心寺中興の祖・日峰宗舜の開創にかかる青龍山瑞泉寺(愛知県犬山市)は、濃尾平野の妙心寺教団の中心になってその発展に寄与してきた。その600年にわたる歴史を、通史編、伽羅・塔頭編、史料編の三部構成で伝える。

▶A5判・584頁/定価21,000円 ISBN978-4-7842-1487-7

※禅宗文化史の研究

桜井景雄著

『南禅寺史』『統南禅寺史』でその名を知られた著者の南禅寺および禅宗史に関する論稿をまとめる。寺史篇では永保寺・円光寺史を、制度篇では禅宗主流の成立とその性格、官寺制五山についてなど7篇、人物篇では周佐・古溪・崇伝・素湛等を、文化篇では茶道の源流、梅屋宗香と乗福寺本『鷗庵遺稿』についてなど5篇を論じる。

▶A5判・410頁/定価8,925円 ISBN4-7842-0452-0

南都寺院文書の世界

勝山清次編

東大寺宝珠院(法華堂文書・宝珠院文書)と興福寺一乘院坊官二条家(一乘院文書・一乘院御用日記)に伝来した文書の3年間に渡る調査・研究の成果をまとめた一書。東大寺・興福寺を中心とした南都寺院の寺領やネットワークに関する研究をこれらの史料をもとに展開する。論考8篇と史料翻刻3篇収録。

▶A5判・350頁/定価6,090円 ISBN978-4-7842-1369-6

※幕藩権力と寺院・門跡

杉田善雄著

思文閣史学叢書

宗派・教団単位に考察されてきた従来の研究に対し、中世社寺勢力の中心であった顕密系寺院の近世的あり方を分析することによって、江戸幕府の寺院行政の展開をより明瞭に解明。さらに、旧寺社権門の頂点に位置した門跡を分析対象とし、近世における門跡制の特質を明らかにする。

▶A5判・320頁/定価7,560円 ISBN4-7842-1166-7

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。